

今年度第1弾の講演会は、私の母校での開催です！

「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2023年度の活動第1弾は、2017年から講演を行っている苫小牧工業高等専門学校(苫高専)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

苫高専での講演ですが、渡辺先生たつての希望で技術士第1次試験願書提出前となる6月9日の開催となりました。先生の狙いですが、これまでの講演会を見てきた中で、講演会直後が最も学生たちの技術士取得へのモチベーションが高くなるという傾向がみられたことから、まずは願書を出すまで繋げたいという思いがありました。

2. 実施概要

開催日時：2023.6.9(金)10:00～11:30

講義内容：技術士資格の説明

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：創造工学科 都市・環境系

都市・環境コース 4年生 計36名

参加幹事：小澤、木本、千葉(記)(ミライ研3名)

長内、巻口(青技交2名)。

毎度のことですが、苫高専での講演は、今回も創造工学科の都市・環境系の渡辺先生(技術士)の力強いバックアップがあって実現することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

苫高専は筆者の母校でもあります。会場の学生達と私の年齢差がちょうど30歳となりました。学生達との距離感もかなり出てきましたので、この大役もそろそろ次の世代へ託さないとなりませんね。笑

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

写真1にあるように小澤代表は素顔での講演を行ってくれました。学生達のマスク着用率は50%程度だったと思います。コロナ禍では何かと制約が多かった講演活動でしたが、ようやく以前の光景が戻ってきたなと感慨深いものがありました。



写真-1 顔の表情筋も使って注目を集める小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 農業土木の技術士の仕事(長内技術士)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは(株)環境保全サイエンスに勤務する長内技術士から、「農業分野の建設コンサルタントとは？」と題してプレゼン発表を行いました。

高専ではあまり馴染みの無い“農業土木”と言う分野ではありましたが、長内技術士のプレゼンを聞いて、多くの学生たちが興味を持ってくれた他、「技術士を取得すると成長スピードが上がる！」とのコメントに、学生達は度肝を抜かれていました。



写真-2 クイズを出題する長内技術士(青技交 幹事)

(2)河川分野の技術士の仕事(巻口技術士)

続いて、苫高専 OB で、(株)福田水文センターに勤務する巻口技術士から、河川分野のコンサルタントの仕事と題してプレゼン発表を行いました。

河川分野のコンサルタントとして、クライアントが困っている問題に対し、自身を川のお医者さんに例えて、どのような処方箋(解決策)を提案してきたかを、具体例を交えて説明してくれていました。

また、自身のキャリアから技術士を取得することで、転職の際の困らなかったことや、転職後においてもキャリアアップが望める等、リアルな話も交えて説明してくれました。



写真-3 学生の質問に答える巻口技術士(青技交 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に、2 人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

先生からリクエスト頂いたコンサルタントにも

様々な仕事があることを知ることで、自分の将来を考える機会になればと考えて用意しました。

学生達からの感想には「土木といっても様々な分野があり、選択肢がたくさんあたえられているのだと知れた」等のコメントもあり、自分たちの「ミライ」を考えるきっかけにいただけたようです。



写真-4 皆のミライを語る木本技術士(ミライ研 幹事)

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では「農業土木について詳しく知る機会がなかったが、とてもやりがいがある仕事のように思えた」「河川分野における専門的な業務内容など知ることができてよかった」、「高専を卒業してからどのような道を通っていくかイメージすることができた」といった、今後の就職活動や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

学生からの感想には「私が目指すべきは技術士 1 次に受かることだと確信しました」、「技術士はやれば取れるという希望を持つことができた」等の技術士取得の動機他、「4 人の方のお話で高専にきてよかったなと安心できました」等のコメントも頂きました。アンケートでは、36 人中 36 人が「名前だけは知っていた」「以前から、名前も内容も知っていた」等だったのに対し、36 人中 35 人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は 5 段階評価でいずれも平均 4.9 と学生に高評価であったことも一因だったのではと考えています。

まずは第 1 次試験突破に期待したいと思います。